

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年4月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年4月1日～4月30日）

○調査期間：令和2年4月27日～令和2年5月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業16企業、卸売業11企業、小売業24企業

飲食業13企業、サービス業44企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計128企業>

○調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲36.3）よりマイナス幅が24.6ポイント拡大し、▲60.9となった。業種別では、飲食業はマイナス幅が縮小した。製造業、サービス業、建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。

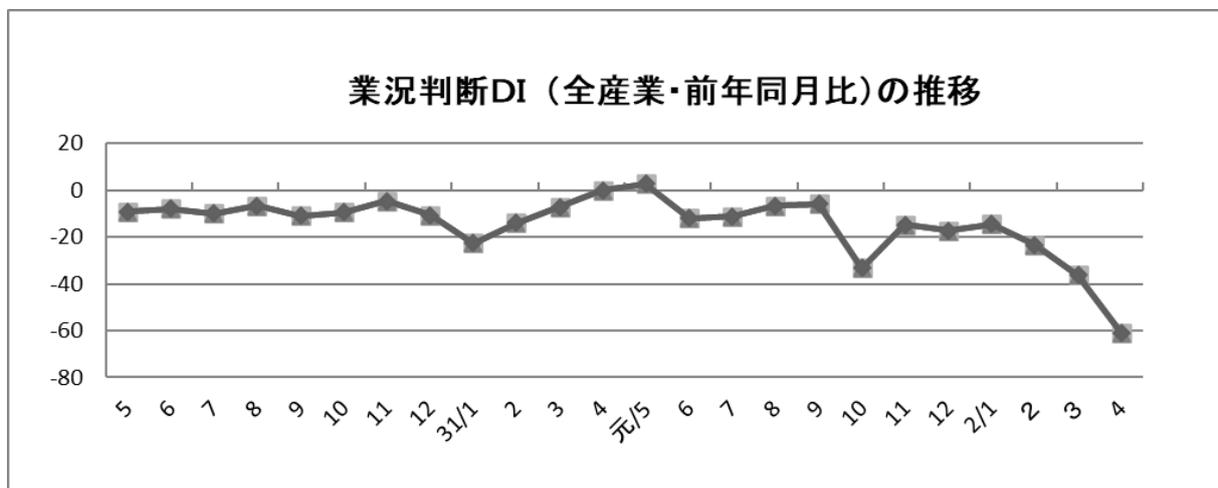
○全産業合計の水準DIは、前月（▲42.2）よりマイナス幅が21.9ポイント拡大し、▲64.1となった。業種別では、飲食業はマイナス幅が縮小した。卸売業は変化がなかった。製造業、建設業、サービス業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	4.7 (10.4)	29.7 (42.9)	65.6 (46.7)	▲60.9 ↘ (▲36.3)	2.3 (6.7)	31.3 (44.4)	66.4 (48.9)	▲64.1 ↘ (▲42.2)
建設業	5.0 (5.0)	60.0 (80.0)	35.0 (15.0)	▲30.0 ↘ (▲10.0)	0.0 (5.0)	55.0 (80.0)	45.0 (15.0)	▲45.0 ↘ (▲10.0)
製造業	6.3 (19.0)	18.7 (42.9)	75.0 (38.1)	▲68.7 ↘ (▲19.1)	0.0 (14.3)	31.2 (47.6)	68.8 (38.1)	▲68.8 ↘ (▲23.8)
卸売業	0.0 (0.0)	18.2 (36.4)	81.8 (63.6)	▲81.8 ↘ (▲63.6)	0.0 (0.0)	18.2 (18.2)	81.8 (81.8)	▲81.8 → (▲81.8)
小売業	12.5 (11.5)	20.8 (27.0)	66.7 (61.5)	▲54.2 ↘ (▲50.0)	12.5 (7.7)	16.7 (30.8)	70.8 (61.5)	▲58.3 ↘ (▲53.8)
飲食業	0.0 (0.0)	7.7 (7.1)	92.3 (92.9)	▲92.3 ↗ (▲92.9)	0.0 (0.0)	7.7 (7.1)	92.3 (92.9)	▲92.3 ↗ (▲92.9)
サービス業	2.3 (14.0)	34.1 (48.8)	63.6 (37.2)	▲61.3 ↘ (▲23.2)	0.0 (7.0)	38.6 (53.5)	61.4 (39.5)	▲61.4 ↘ (▲32.5)

（ ）内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



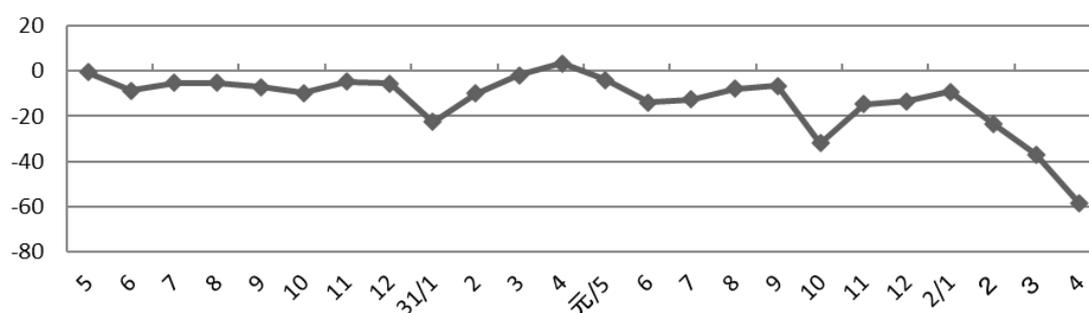
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲37.0）から21.6ポイント拡大して▲58.6となった。業種別に見ると、卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、製造業、サービス業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
全 体	3.3	▲4.0	▲13.9	▲12.6	▲8.0	▲6.6	▲32.0	▲14.6	▲13.3	▲9.3	▲23.4	▲37.0	▲58.6
建設業	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6	▲12.5	▲5.0	▲35.0
製造業	4.4	▲4.8	▲22.8	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2	▲40.9	▲14.3	▲41.0	▲19.1	▲75.0
卸売業	0.0	▲25.0	▲15.4	▲40.0	▲50.0	▲41.7	▲64.3	▲50.0	▲38.5	▲30.8	▲28.6	▲81.8	▲63.6
小売業	▲3.6	▲14.3	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4	▲25.0	▲46.1	▲50.0
飲食業	11.1	0.0	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0	▲92.9	▲92.3
サービス業	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9	▲25.5	▲56.8

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



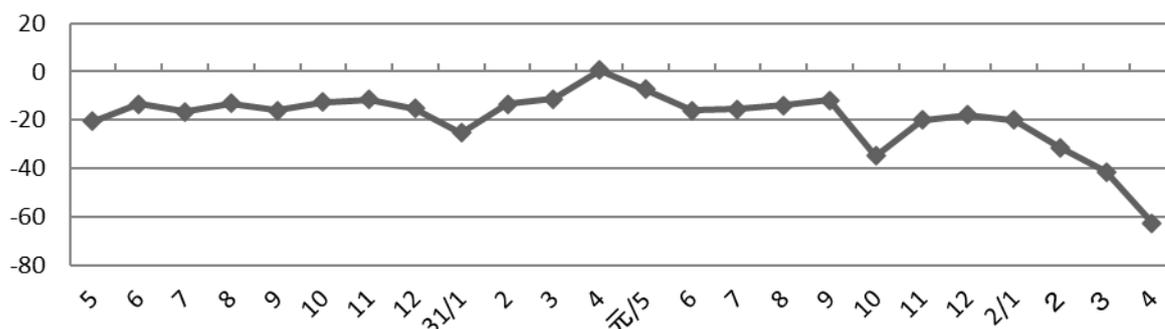
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲41.5）より21.0ポイント拡大して、▲62.5となった。業種別に見ると、製造業、サービス業、卸売業、建設業、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

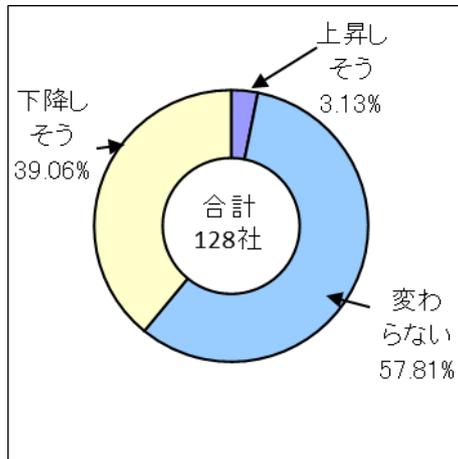
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
全 体	0.7	▲7.4	▲15.9	▲15.4	▲14.0	▲11.8	▲34.7	▲20.0	▲17.8	▲20.0	▲31.3	▲41.5	▲62.5
建設業	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2	▲29.1	▲30.0	▲40.0
製造業	8.7	▲19.1	▲18.2	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8	▲50.0	▲38.1	▲50.0	▲38.1	▲81.2
卸売業	25.0	8.3	▲15.4	▲10.0	▲40.0	▲16.6	▲50.0	▲25.0	▲23.1	▲30.8	▲42.9	▲54.5	▲72.7
小売業	▲14.2	▲10.7	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7	▲35.7	▲46.2	▲54.2
飲食業	0.0	▲5.5	▲47.1	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9	▲85.7	▲92.3
サービス業	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9	▲27.9	▲59.1

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

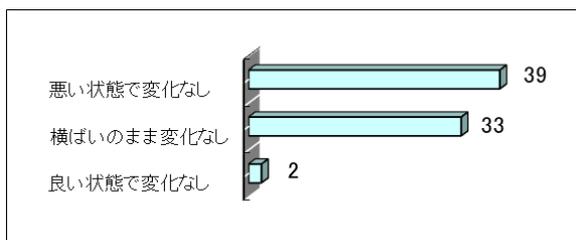


○令和2年5月～令和2年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.17ポイント増加し3.13%、「下降しそう」が7.61ポイント減少し39.06%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲25.0)、製造業(▲31.3)、卸売業(▲36.4)、小売業(▲45.8)、飲食業(▲46.2)、サービス業(▲34.1)であった。

➡「上昇しそう」では「ここまでは受注が少なかったが、ここからは順調に推移していくと考えられるため」「新年度公共工事の発注が始まるため(建設業)」「新型コロナウイルス感染症の回復見込みのため(卸売業)」「新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されてくると思うため(サービス業)」といった声が寄せられた。

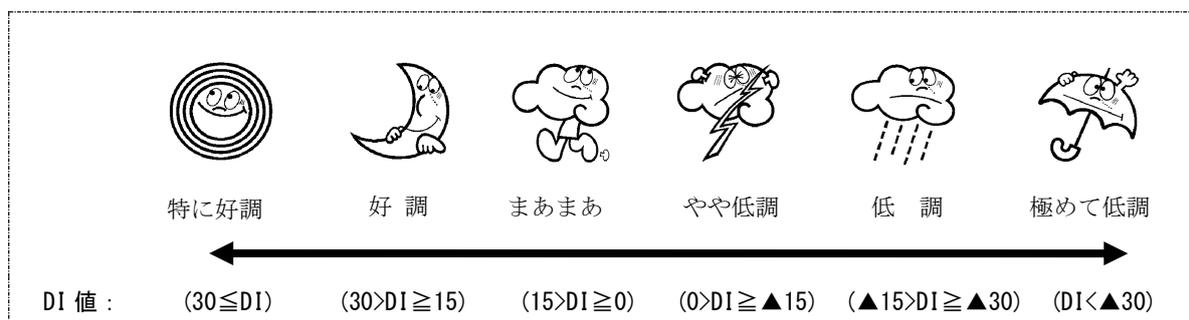
➡「変わらない」では「新型コロナウイルス感染症の影響で業務用が減り市販用が増えているため(製造業)」「特に大きなプロジェクトの予定がないため」「新型コロナウイルスの影響から再就職のための訓練希望者が増加する可能性の一方で、教室での感染を恐れ訓練応募者の減少も見込まれるため(サービス業)」といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「年度末が終わり一区切りついて新年度の受注は少ないため(建設業)」「受注に陰りが見え始めているため」「新型コロナウイルス感染症の警戒宣言延長により、社会経済全体が極度に委縮するため(製造業)」「学校給食休止、外食分野休業により売上激減が続くそうのため(卸売業)」「出歩かないというお客様が多いため(小売業)(飲食業)」「休業しているため」「景気後退のため」「学校行事やスポーツ大会の中止などで先が見えないため(サービス業)」「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見33件)」といった声が寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0
受注量	▲ 8.7	▲ 8.7	0.0	▲ 12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 55.0
受注単価	0.0	▲ 4.3	▲ 8.7	0.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 15.0
営業利益	▲ 4.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0
見通し	13.1	13.0	4.3	8.4	▲ 4.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 8.0	4.2	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 25.0

<経営者の目・見方・etc>

総合建設

建設業

建築工事

土木工事

管工事

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で公共工事の発注が遅れそうである。
- ・新型コロナウイルス感染症について今のところ直接的な影響はそれほどないが、経済活動全体の落ち込みは避けられないので、今後当業界にも影響が出てくると思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため全国的に緊急事態宣言が出され、どの業界も三密や移動を避ける対策を講じている中、さらに新たな生活様式への切り替えが必要とされている。変化が避けられない状況は、常に最善の安全を考えた行動で対処していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大で中国からの建築資材の仕入れが激減し、国内が品薄となり3月は大混乱したと聞いている。4月も同様の状況が続いていると思われる。中国からの建築資材の依頼度の高さに驚いている。企業訪問が許されないため資材メーカー、商社との業務接点が途絶えており新年度の資材調達の見込みが立たない。
- ・受注量は見込みがあるが、受注単価が上がらないのが現状。今後の取り組みを変えていかなければならない。

電気工事

- ・新型コロナウイルス感染症関係で資材入荷が不透明になり、新築住宅等が中止も含め先送りになっている。
- ・官庁の工事は動いている。顧客先は工事をやりたい所だが今は控えている。この状況下で会社の売り上げを見通すことができない。

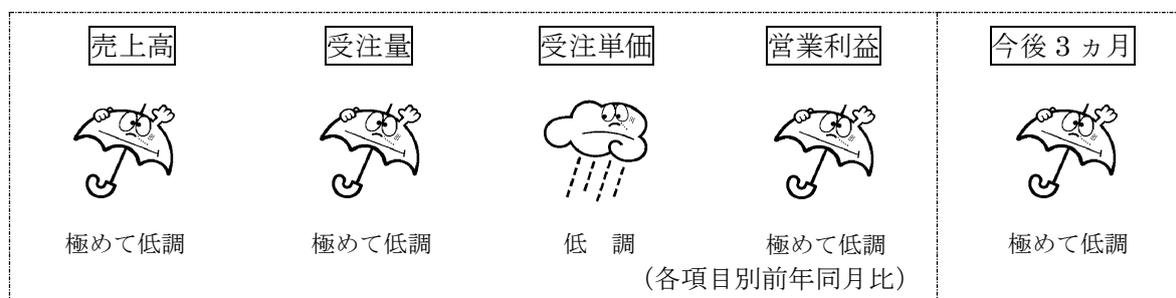
鉄工

- ・新型コロナウイルス感染症の影響はないわけがない。しかし、必ず終息するときには来るはず。そこを見据えて今自分の会社では何を準備すべきか？ 経営者としてはそこをよく考えていきたいと考えている。
- ・前回と同様、新型コロナウイルス感染症の影響で首都圏の秋以降の工事で中止または延期となるものが出てきている。

室内装飾
建築設計

- ・受注に新型コロナウイルス感染症が影響し、現場がストップする不安がある。
- ・現場がストップしているため今後の見通しが不安である。
- ・6月以降が心配である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
売上高	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0
受注量	8.7	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3	▲ 75.0
受注単価	0.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 25.0
営業利益	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2
見通し	▲ 30.4	▲ 14.3	0.0	▲ 9.5	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 27.3	▲ 4.5	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1	▲ 31.3

<経営者の目・見方・ec>

菓子

- ・お土産販売をしている得意先は全くと言っていいほど動きがなかった。引き続き、一般小売販売先の特売売り場は食品が占めており、半生菓子の需要は下降している。また、老人施設でも休止が増えてきて、利用者へのお茶菓子の用意も減少傾向にある。

豆腐

- ・3月、4月と学校給食の仕事がキャンセルになり、関連している事業所の影響は大きい。一方で、家庭での食事の機会が増えたため、スーパーや小売の売上は好調である。

精密機械

- ・とにかく新型コロナウイルス感染症がどうなるかに全て影響されてしまう。

小型情報機器組立

- ・新型コロナウイルス感染症の影響でどこも同じく売り上げダウン。当社は50%以上下がった。部品が入らなくなり前に進まなくなっている。

印刷

- ・松本に観光地としての活気が戻らないと色々が動き出さない感じがする。松本ぼんぼんや松本マラソンが中止との発表なので、大きなイベント等は中止の方向が強く、業界的には当分の間厳しい状況が続くそうである。

- ・当業界に限らず、新型コロナウイルス感染症の影響は事業承継にもおよぶと思われる。事業承継出来ていないだけでなく、その目処が立たないまま重症化リスクのある高齢の経営者に果たして役割を任せ続けて良いものか、今後は問いかねられることになるだろう。
- ・印刷会社は新型コロナウイルス感染症対策が簡易的。製造業では異例の手の消毒と換気だけがメインの対策と言う企業が多い。逆にインキや溶剤臭のするような作業環境がコロナには向かないのだろうか。
- ・紙に印刷すると言う仕事の性質上、業務にも紙が付きまといやすいが、アフターコロナに向けて、より一層の業務効率化・改善が必要になるだろう。また、子弟関係の様な「言って聞かせる」仕事の覚え方、職人的な仕事の進め方にもテコ入れが必要になってくる様な時代になってしまったと言える。
- ・金融機関や医療関係の受付用クリアシールドパネルが販売されたが、あつと言う間にデフレが発生。ネット環境で異常なスピードとマインドでデフレになってしまいが、印刷関連業もその傾向は否めない。コロナウイルスのリスクをコストに組み入れないデフレは第2波、第3波の際に破綻しかねない。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
売上高	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6
販売客数	0.0	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5
販売客単価	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5
営業利益	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7
見通し	0.0	0.0	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4

<経営者の目・見方・etc>

土産品

・取引先の休業がさらに増え一層厳しくなった。在宅勤務や休業日も増やし社員の雇用維持を継続しつつ緊急事態宣言解除後の対応に備えたい。

業務用食品

・売上激減に対して今後の対策をどのようにするか早急に決めなければいけない。

青果

・3月同様新型コロナウイルス感染症の影響で業務関係の落ち込みが続いているが、その反面量販店、小売等の一般売りは良い。ただ先々を見ると不安要素はある。

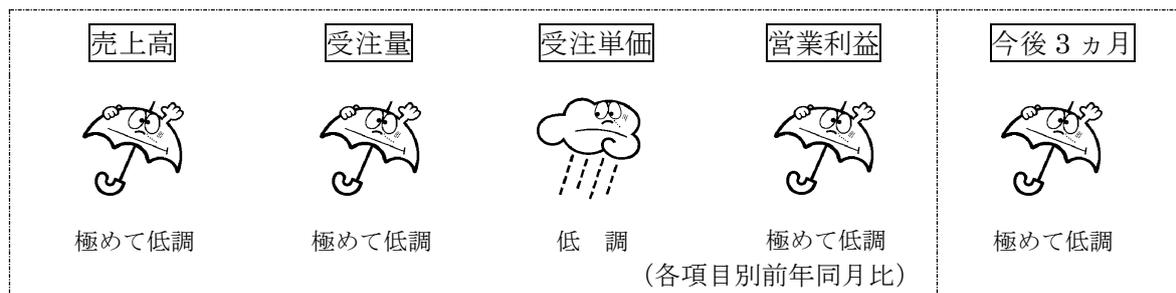
金属製品

・先月同様、不透明な状況に変わりはない。新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、業界全体に先行きの不安が高まっている。

機械工具

・新型コロナウイルス感染症の影響で県外メーカーの県内への出張が途絶え、営業支援が受けられない状態が続いている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0
販売客数	3.6	▲ 3.6	▲ 31.1	▲ 35.5	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 62.5
販売客単価	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 20.7	▲ 6.5	3.4	3.3	▲ 35.8	▲ 15.6	10.0	▲ 16.7	3.6	▲ 26.9	▲ 25.0
営業利益	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2
見通し	3.5	▲ 10.7	▲ 17.3	▲ 16.1	0.0	▲ 26.6	▲ 10.7	▲ 9.4	▲ 3.3	▲ 26.6	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 45.8

<経営者の目・見方・etc>

- 印章
 - ・松本城の桜並木のライトアップが中止になり、夕方以降の街中の人出が激減した。しかし、これが新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えた要因になったかもしれない。県外の卸問屋の出張が中止になって、情報の収集などに遅れが出ている。
- 印章・刃物研ぎ
 - ・通りに買い物客が全く見られなくなった。通りも数店舗しか営業していない。父の代から75年、初めての経験であり、先が心配になる。
- 生鮮食品
 - ・毎日ニュース・テレビ・新聞と新型コロナウイルス感染症の話ばかりで明るい情報が見つけられない。
- 洋菓子
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で先の見通しがわからない状況ではあるが、テイクアウトが中心の業態なので、大きな影響は受けていない。できる範囲での感染防止策を行い営業しているが、今後も周囲の状況を見つつ臨機応変にやっていくしかない状態です。イベント等も自粛による中止が相次いでいるので早く終息を願うばかりです。良くも悪くも考える時間が多く取れるので前向きにいろいろ考えたい。
- おやき
 - ・納品先、店売共新型コロナウイルス感染症の影響により非常に悪い。収まるまで工夫してなんとか乗り切りたい。周りも目に見えて悪くなっているようだ。
- パン
 - ・イベントの中止などによる注文キャンセル、卸の減少があった一方、ご自宅用のまとめ買いらしきお客様が多かった。
- 婦人服
 - ・新型コロナウイルス感染症のため出歩かない、自宅にいるというお客様が多く、DMも控えています。お客様から家族へ感染することをとても気にしていらっしゃいます。
- 化粧品
 - ・Stay homeの宣言下、街を回遊する環境が整わないことが小売業にとって致命的になっている。
- 手芸材料
 - ・例年なら季節ものをお求めいただく地元や観光のお客様がほとんど来られなかった。新型コロナウイルス感染症が早々に終息するとも思えず、この状況が続くと経営は相当厳しい。
- スポーツ用品
 - ・このまま営業を継続できるのか心配になる。
- 薬局
 - ・来店客は少なかったが電話注文が多い。
- 住宅機器
 - ・建築現場がストップしているところが出てきてどうにも手が打てない。
- 燃料
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響と原油価格が心配である。

・飲食店や宿泊施設といったほとんどの卸先が休業状態となり、行政から要請されてはいないものの弊社も休業状態である。テナントからは賃料の相談が寄せられている。仕入れ先からはマスクや消毒液の案内が続々と届くが、異業種が一斉に参入した結果、ドラッグストアの入荷が減少しているのだろう。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
売上高	11.1	0.0	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0	▲92.9	▲92.3
販売客数	11.1	5.5	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲37.5	▲70.6	▲43.8	▲13.4	▲25.0	▲47.0	▲92.9	▲92.3
販売客単価	0.0	▲5.5	▲23.5	0.0	▲20.0	▲18.7	▲17.6	▲18.7	▲20.0	▲18.7	▲23.5	▲57.1	▲69.2
営業利益	0.0	▲5.5	▲47.1	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9	▲85.7	▲92.3
見通し	0.0	▲5.5	11.7	0.0	▲13.3	▲12.5	▲5.9	▲6.2	▲13.3	▲6.3	▲47.1	▲71.4	▲46.2

<経営者の目・見方・etc>

料理

・公共施設に入っている店舗で施設の予約が7月まですべてキャンセルになり、企業全体の売上が、3月70%、4月90%と下降、今後の対策のため3月上旬から雇用調整助成金を申し込むも5月になりようやく申請の目途が立つ、2ヵ月間もかかる制度資金でまだ認定に至らない。こんな制度資金では企業は行き詰まってしまう。いつ現金にできるかもわからない。

・この4月は本来なら日も明るく気持ちも外に向かうのですが、世の中はそのようにはいかず、早くの終息を願うのみです。

創作料理

・現在店は5月の連休明けまで閉店する予定。近所に2軒の飲食店があるが、どちらも閉店している。4月に関しては、第1週に2組の来店があったものの、その後は「ゼロ」。昨年比85%の売り上げ減に終わる。家賃支払いがないので何とか終息後頑張れる体力を維持していこうと思っているが、収入減を絶たれたままではいかんともしがたい。

食堂

・緊急事態宣言が発令され、イオンモールは休館になり周辺の道路は閑散として歩く人もまばらになり、来客数も激減している。テイクアウトは多少増える傾向にある。

寿司

・新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている。今月の宴会予約は99%キャンセル、売上は3分の2以上ダウン、もう手が付けられない。終息が見えない状況ではあるが、決して負けるわけにはいかない。時間短縮等で閉店も夜8時前。今まで培ってきたテイクアウトに力を入れたい。

郷土料理

・新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、客数減、売上減は激しい。県外からのお客様は見込めず、早い終息が待たれる。

そば

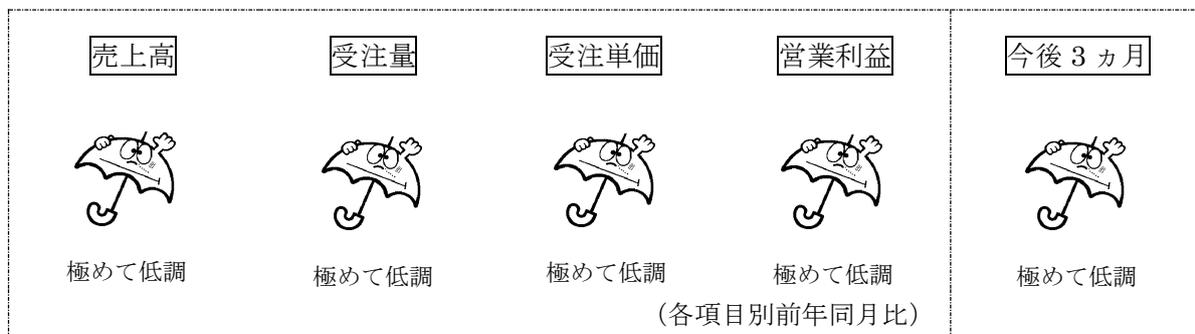
・持ち帰りを始めてみたが、時間と手間ばかりかかり、慣れないこともあって十分な売り上げにはつながっていない。消費税納付期が1カ月延びたところで大差はない。疲れがたまってきている。

・経営が壊滅的な状況である。

ラーメン

・営業を自粛しているので、自粛後がどうなるか心配である。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	H31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月
売上高	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9	▲25.5	▲56.8
販売客数	4.3	0.0	4.3	▲8.3	2.0	▲14.9	▲40.4	0.0	▲10.9	▲10.9	▲8.9	▲32.5	▲59.1
販売客単価	▲4.4	2.1	2.1	▲6.2	6.0	▲6.3	▲25.5	2.3	▲2.2	4.3	▲2.2	▲16.2	▲31.8
営業利益	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9	▲27.9	▲59.1
見通し	4.3	8.4	6.4	▲2.1	▲12.0	▲14.8	▲2.1	▲7.0	▲10.8	▲4.4	▲40.0	▲44.2	▲34.1

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備、
板金塗装

・新型コロナウイルス感染症の影響は町全体に異様な様子を醸し出している。車も少なく静かで仕事をするには最適であるが、世の中の景気が悪くなるのが何よりも気にかかる場所。

機械設計

・忙しさはないが、まあまあの状態である。もう1ヶ月皆で協力し感染防止に努めよう。

ソフトウェア

・顧客との面談による提案、打ち合わせができない為、新規案件を獲得しにくい。当社は無いが、常駐型で作業している現場はこの1、2カ月に契約が切れ、継続が見込めないところが多い。営業力があっても技術者がいない、逆に技術者がいても常駐派遣だけ、というところは今後厳しい。

システムサポート

・4月に入り急激に全産業で新型コロナウイルス感染症の影響を受け始め、一気に蔓延したことにより、商談のストップ、客先打ち合わせ、システム搬入の延期を余儀なくされ、日がたつにつれ厳しくなっている状況である。

タクシー

・不要不急の外出の制限や要請を受けて人の動きはまばらで、輸送人員、売上高は前年の4分の1にも満たなかった。

旅館

・4月の後半から休業に入り、国の緊急事態宣言の1カ月余りの延長を受け、当館も5月末を目度として休業を延長した。国、県、市の支援体制ももう少しスピーディにしてほしい。特に簡略化されたとはいえ、雇用調整助成金がまだまだ申請が複雑なようです。

・宿泊、宴会共にほとんどないといってよい状態。なすすべがない。

・新型コロナウイルス感染症の流行により、来客数が減少した。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同期に比べ、売上が70%ダウンでした。銀行から融資を受けますが、それでも半年もこの状況が続いたら倒産も視野に入ってきます。国の緊急事態宣言による自粛制作も失敗に終わりそうですので、これからは経済が悪くなる一方だと思われます。これからどうなるのか、何とか生き残れるように努力していきたい。 ・寒期からの脱皮と思いきや、新型コロナウイルス感染症により県からの要請営業を受け4月末まで「休業」5月、6月も予約全て取り消し。今後の経営が不安。休業手当の30万円では追い付かない。
観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・4月16日に、25日の営業開始を目指して入山したとたん、全国の緊急事態宣言が出され、県からも自粛要請が来てしまった。もちろん4月の売り上げはとなり、自宅待機させている従業員への休業手当も大変だ。今後どうなるか分からないのが一番不安な材料だ。おまけに群発地震も発生してしまい、夏までには何とか両方とも終息してほしいものである。
リラクゼーション 理容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により4月は休業でした。 ・影響は引き続きあり、今後の経済への打撃、経営の危機が一層深刻化していくと思う。経済対策は個人の方では太刀打ちできないレベルになりつつある。夏までに終息するか読めないのが不安でしかない。今は緊急事態宣言を早い段階で解除し、経済を回してほしいと願う。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる感染拡大の影響があった。一日も早く日常が戻ることを願いつつ、感染防止対策をしっかりと行っていく。
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で近隣の工場の稼働率が落ちているため、それに同期して物流量が減っている。物流量減少がどこまで拡大し、いつまで継続するかが全く分からない。
建築設計	<ul style="list-style-type: none"> ・当初8割自粛も絶対無理だと思っていた。外国に比べ法的罰則のない自粛も、日本人はそれぞれが我慢し実施している。このまま、少しずつでも終息に向かえば、世界は日本人の行動に大変驚くと思う。何とかみんなの力で大和魂を見せたいと思う。頑張ろう。
建築設計、工事監理 測量・建設コンサル タント業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明。営業行動が不能 ・売上としては新型コロナウイルス感染症の影響はなかったが、自粛により、業務や採用活動に支障が出ている。しかし社内から感染者が出れば会社が傾きかねない。感染者数が減少傾向にあり気持ちも緩みがちだが、防止対策をしっかりと行い乗り切るしかない。
不動産賃貸	<ul style="list-style-type: none"> ・テナント店舗から新型コロナウイルス感染症の影響で客足が激減したため家賃を値下げしてほしいとの話があった。
ホームクリーニング・ リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は、私たちクリーニング・リネンサプライ業界においてはかつてない甚大な経営悪化の現状を招いています。自助努力も限界であり、行政の支援、援助を切に望みます。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・4月は外出自粛が続き厳しい状況が続いた。5月もこの状況が続きそうで先が見えない。
写真・ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> ・3月半減、4月、5月はほぼ結婚式の撮影はなかった。6月も3割程度の予定。